

第1回球磨川堤防調査委員会

1. 日 時：令和2年7月13日（月）13:30～15:30

2. 出席者

委員長

秋山 壽一郎 九州工業大学名誉教授

委員長代理

安福 規之 九州大学大学院工学研究院社会基盤部門教授

委員

上久保 祐志 熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科准教授

佐々木 哲也 国立研究開発法人土木研究所 地質・地盤研究グループ
土質・振動チーム 上席研究員

福島 雅紀 国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部河川研究室室長

（敬称略 五十音順）

3. 議事概要

○委員長及び委員長代理の選任

委員の互選により委員長を秋山委員、委員長代理を安福委員に選任する。

○被災箇所について、現地確認及び被災発生状況を事務局から説明。委員より被災要因や対策工を検討するため必要な調査内容について意見を伺った。また、現地での意見以外にも、今回の現地調査を踏まえた調査・分析等に関する意見は、委員より事務局に連絡する。

○球磨川右岸 56.4k 付近

- ・堤防の土質が上下流で異なるため、堤防や基礎地盤の地質構成を工事履歴やボーリングデータ等から確認すること。
- ・面的な洪水痕跡、観測水位、周辺地盤高、堤防地盤高、地域住民の証言等から被災時の内外水位や流れがどのような状況であったか推定すること。
- ・被災箇所周辺の河床変化も確認すること。
- ・洪水発生時の状況について、可能な限り地域住民等の証言を収集すること。
- ・決壊箇所の痕跡水位を広範囲に把握すること。

○球磨川左岸 55.0k 付近

※委員からの指摘内容は、56.4k 付近と同様

○球磨川右岸 59.0k 付近

- ・現地被災状況から、被災要因としては河川からの越流水による影響であることが明確であることから、当委員会での要因分析は要しないと判断される。当該箇所の対策工については別途検討する。

【現地視察状況】

○球磨川右岸 56k400



○球磨川左岸 55k000



○球磨川右岸 59k000

